



発想を変え、短所を長所に

青葉山には雪が残り、日々、厳しい寒さが続いています。早いもので今年度も残すところあと2ヶ月となりました。

3学期は、1年の中で最も短い学期であり、慌ただしく過ぎてしまいがちです。しかし、学校生活では、1年間を締めくくる大切な時期になります。子どもたちが慌ただしさに流されることなく、落ち着いて学習に取り組み、充実した日々を過ごせるように、教職員一同全力で支えていきます。

さて、高浜町をはじめ、日本の地方(田舎)と呼ばれているところで取り組んでいる地方(地域)創生。この地方創生とは、地域がそれぞれの特性を生かして、独特で魅力のある社会を創り上げることです。ところが、地域を盛り上げるためには、「長所(強み)」を前面に押し出すだけでなく、「短所(弱み)」にも目を向けることが必要です。それは、この「短所(弱み)」が、発想を変えることで「長所(強み)」に転じることがあるからです。

新潟県上越市は、冬場雪が多く、人口減少に歯止めがかかりませんでした。この雪が街の「短所」になっていたわけです。しかし、あるときその雪を詰めて販売する「雪の宅配便」というアイデアを思いつき、全国に向けて展開しました。評判はあっという間に広がり、「短所」が「長所」へと生まれ変わりました。

これは、私たちにも言えることではないでしょうか。人にはだれにでも「長所」と「短所」があります。しかし、考え次第で人柄や能力は「長所」にも「短所」にもなります。



4年 総合「シニア体験」

例えば、授業中静かに何かを考えるような場面で、すぐにおしゃべりをしてしまうというのは、「短所」と言えるかもしれません。でも、初めて会った人ばかりの集団の中で、みんなが緊張しているとき、積極的に話ができるというのは、間違いなく「長所」と言えます。

上越市で「雪が多いから何をしてもダメだ」と思い、雪を「短所」としてしかとらえなかったら、街の発展はなかったことでしょう。時と場合にもよりますが、おしゃべりも「短所」としてしかとらえなかったら、それはいつまで経っても「短所」でしかありません。逆転の発想で、その「短所」を「長所」に変えてみよう工夫すると、今まで気がつかなかった自分の「よさ」に気がついたり、新しいアイデアがひらめいたりするかもしれません。高浜小学校においても、子どもたちの「よさ」を伸ばすと共に、一人一人の個性を大切にして、学習や生活面での指導をしていきたいと考えています。



イラストクラブ

